

# 木津川市

第3号

## 議会だより



### もくじ

- |     |         |       |        |
|-----|---------|-------|--------|
| 2~3 | 本会議審査結果 | 10~21 | 一般質問   |
| 4   | 予算特別委員会 | 22    | 意見書    |
| 5~7 | 常任委員会審査 | 22~23 | 組合議会報告 |
| 8~9 | 研修報告    | 24    | わたしの意見 |

今日から大人の仲間入り  
(山城会場)

# の充実をめざして

## 木津第二中 自転車置き場を設置

一般会計補正予算は、1億5150万円を増額し、19年度予算の総額を210億6787万円とした。

### 主な補正予算の内容

- ・ 人事院勧告による給与改定などの人件費1339万円
- ・ 木津第二中学校の自転車置き場の設置事業1234万4千円
- ・ 西部出張所の戸籍・印鑑登録事務のサービス拡充103万円
- ・ 障害者や母子に係る福祉医療費助成1991万円（対象者増）
- ・ 里山のもつ公益性や景観を保全するため、山城町神童子地区の竹林伐採経費168万円
- ・ 椿井大塚山古墳史跡公有地化の買上面積増加1600万円

### 討論

#### 賛成多数で可決

その他、各事務事業における関係諸費の増減補正を行い、財政調整基金に1億796万円を積み立てている。

#### 反対

廃棄物処理取引の認識を改めよ。また、処理委託する前に、(財)容器包装リサイクル協会の一方的な措置に対し、契約書に則り解決すべき。

呉羽真弓

12月定例会が、12月3日から20日までの18日間の会期で開催した。人事院勧告に基づく職員給与の改正(若年層を中心とした6年ぶりの増額)と学童保育の対象学年を6年生まで引き上げる条例改正など議案4件、補正予算7件、請願1件、発議3件を審議し、全議案可決した。



子どもは風の子 (相楽台小)



# 子育て支援・教育

## 学童保育は6年生まで

学童保育の対象学年を6年生までに引き上げる内容。  
合併協議で4年生までと決まったことを、すぐ

に変更してしまうのはなぜかという質問もあったが、住民要求が強かったからという説明であった。  
**全員賛成で可決**

## 8501人の思い 一部採択

教育条件の整備と、教育負担の軽減を求める9項目（要約）

- ① 幼小中学校の給食充実
- ② 配慮が必要な子どもたちのための職員の加配
- ③ 普通教室の扇風機設置と特別教室に冷房設置
- ④ 30人学級の早期実現
- ⑤ 学級見込み編制の実施
- ⑥ 小学校に専科教員配置
- ⑦ 教育関係予算の増額
- ⑧ バス通学の全額補助
- ⑨ 学童保育を6年生までに

請願者

木津川市いきいき

子育てネットワーク

代表 西山幸千子

紹介議員 曾我千代子／

呉羽真弓／酒井弘一

木津川市になって初めての請願であり、①～⑧の項目については文教委員会に、⑨項目は厚生委員会に付託され、審査された。

文教委員会の審査では①②③④⑦の項目の一部採択となった。  
厚生委員会では、⑨項目目は条例改正と同じ内容であり、特に質疑もなく採択された。

質疑

Q 委員会では不採択とされた⑤⑥⑧の理由は何か。

A 委員会では、討論はなかった。⑤は見込み編制は難しい。⑥は担当が全てを受け持つことに意義がある。⑧は山城ではバス運行がないため、公平性に欠くとの意見が出されていた。

立場であり、意見はさしひかえる。

質疑終了後、一括採択ではなく、項目ごとに審査すべきとの動議が出された。

**動議は賛成少数で否決**

本会議審議は、委員会の一部採択に対する採決。  
**賛成多数で一部採択**

## 討論

反対

全採択すべきとの思いから、一部採択に反対。8501人の署名の重さを理解せず、項目の中心以外に多くの時間を割いた委員会審査は、遺憾。

呉羽真弓

賛成

低下する教育水準への対処、また、同志社国際小を誘致する上でもパランスの取れた教育環境整備が必要で、全項目採択すべきである。

梶田和良

請願項目すべてに賛成の立場だが、動議が否決された。委員会は、否決の理由もなく審査不十分だが、請願内容実現の最善の方法として賛成する。

村城恵子



# 放置竹林拡大防止を全市に

12月17日、予算特別委員会を開会。補正額は、1億5150万円で一般会計総額予算は、収支それぞれ210億6787万円となった。全員賛成で可決した。

## 主な質疑

**Q** 放置竹林被害拡大防止事業を京都府の5カ

年計画で行っているが、現在の事業の取り組みと山城地域の現状は。今後は全市対象となるのか。

**A** **生活環境部長** この事業は森林を侵蝕している竹林の駆除が目的で取り組んでいる。駆除の委託先としては、労働安全衛生法から森林業に従事する方、知識があり、研修されている方などにお願している。全市対象として府と相談しながら進めてゆきたい。

**Q** 東山墓地の分譲区画

数は。

**A** **まち美化推進課長** 3.61万円の補正で27区画を分譲する。

**Q** 木津第二中学校駐

輪場の設計監理委託料は高くないか、また、構造はどうか。

**A** **教育部長** 委託料については、府の試算表による値段、構造は鉄骨で考えている。

**Q** 資源ゴミの売却益

の活用を考えるべきだ。

**A** **生活環境部長** ペットボトルは売却益が出ているので、今後の課題

と考える。

**Q** 資源ゴミの引きとり

停止で処理費が443万円計上されているが、金額の交渉はあったのか。

**A** **生活環境部長** 処理の業者と費用は入札によって決定する。

**Q** 木津幼稚園の抽選

で24人が入園できなかつた。また、きょうだいで同じ幼稚園に入れない状況にどう対処する。

**A** **教育長** 高の原幼稚園で入園二次募集する。きょうだいで同じ園に入れない時は、行事などが両園で重ならないように調整する。

**Q** 木津第二中学校は、

各学年二百数十人となり、少人数学級の編成に対し教室は足りるのか。

**A** **教育部理事** 各学年5クラス程度で対応できると思うが、一時的にプレハブ活用もあるのでと考えている。

**Q** 市の保有バスの削減が言われているが、今

まで通りの実績が保たれるか。

**A** **市長公室長** 近隣の2、3台に対し5台と多い。概ね1カ月に17日ないし20日程の利用で8割が学校関係だ。利用のあり方を含め検討する。

委員長  
副委員長  
委員

深山 國男  
村城 恵子  
伊藤紀味枝  
尾崎 輝雄  
宮嶋 良造  
倉 克伊  
中野 重高  
吉元 善宏

織田 廣由  
大西 宏  
出栗 伸幸  
阪本 明治  
片岡 廣



木津第二中学校

## 残業が多い。 職員配置は 適切か

### 産業建設委員会

12月6日に委員会を開会し、議案5件を審査し、全議案全員賛成で可決。

**全議案可決**



加茂町美浪地区

#### ■公共下水道事業補正予算

歳入歳出に7920万円  
の増額補正。

Q 職員の健康管理と  
補充は。

A 人間ドックや健康  
診断を行っているが、個  
人の責任において管理す  
るもの。補充は下水道課  
で答えられない。

Q 加茂町美浪と山之  
上の下水道工事の進捗状  
況は。

A 美浪地区は11月に  
面整備の地元説明会を行  
い、家屋調査、水道仮設  
工事、仮駐車場の工事は  
20年4月の発注であるこ  
とを報告した。山之上地  
区は、面整備が困難で、  
地元同意をもらいう段階  
だ。

#### ■水道事業補正予算

収益的収入及び支出を  
1139万円、資本的収  
入を3億7290万円、  
資本的支出を3億843  
7万円の増額補正。

Q 水道料金の113  
9万円の増額は、昨年度  
実績よりも大きな伸び  
だ。本年度11月までの実  
績と昨年度の12月から3  
月までの実績を元にして  
計上するのが本来のあり  
方だ。そうならない。

A 旧木津町で水道料金  
の値上げを行ったことに  
よる影響が出るのが、昨  
年度は半年分だが本年度  
は1年分となる。またイ  
オンが5月にオープン  
し、日量300トンの使用  
を考慮した。

Q 時間外手当が47  
3万円増額だ。職員1人  
当たり17万5千円にな  
り、大変ハードな超過勤  
務だ。正確か。

A 冬場に起こりやすい  
水道事故、中央地区の工  
事などを見込み、また職  
員の不足も要因になって  
いる。

Q 健康管理は個人の  
責任であるが、個人責任  
を超えるような残業があ  
るのでは。

A 職員数が不足してい  
る。仕事を旧町単位でや  
っているの、しわ寄せ  
が一部の職員に偏ってい  
る。来年からは旧3町で  
なく市全体として仕事を  
する。職員の健康管理に  
努める。

Q 職員不足なので市  
長に補充をお願いしてい  
るといふ答弁だが、合併  
前と変わらない職員数な  
のにおかしい。市民の感  
覚から、また財政面から  
見ても大きな問題だ。

A 3月12日の合併の  
時の想定とその後の仕事  
量に乖離があり、組織の  
努力で対応した。旧町の  
垣根を取り、市として仕  
事をするのが重要であ  
ると認識している。

Q 旧3町が一体化す  
ることにより、時間外手  
当の問題が解決すること  
もあろうが、時間がかか  
りそうなので、上に立つ  
者が課長、課長補佐を含  
め部下の健康管理にもつ  
と配慮すべきだ。

A 課長などに配慮す  
るよう徹底する。



# 放課後 児童クラブ 6年生までに

厚生委員会

12月5日に委員会を開会し、議案4件を審査し、全議案全員賛成で可決。

**全議案可決**

## ■放課後児童クラブ事業 条例の一部改正

対象学年を、20年4月1日から6年生までに引きあげる。

**Q** 時間延長はどうするのか。

**A** 指導員の確保と安全対策が課題であり、検討中。

**Q** 定員オーバーの場合はどうなのか。

**A** 定員の1割増までは受け入れが可能。

## ■国民健康保険補正予算

2億7020万円を追加し、予算総額を50億3793万円に。

・対象者1万9583人  
・世帯数9872世帯  
保険給付費などについて上半期の動向に併せて下半期分を割り出した事による増額補正。

**Q** 介護納付金の現年課税分が減ったのはなぜか。

**A** 旧3町の合算で試算していたが実態に合わせて見直した。税率の見直しはない。

**Q** 今後の国保税の見直しはどうか。

**A** 国保運営協議会を開いて、来年度に向けて保険料の統一を含め検討。

**Q** 滞納分の推移について知りたい。

**A** 滞納繰り越し分9.38%。前年よりは好転のきざし。

## ■老人保健補正予算

4億2727万円を追加し、予算総額を46億5483万円に。

平成19年9月末現在で対象者5381人。

医療給付費など、上半期から下半期を割り出して見積もった増額補正。

## ■介護保険補正予算

3195万円を減額し、予算総額を30億3925万円に。

第4期介護保険事業計画策定のためのアンケート調査費の増額と、

介護予防サービスの利用する場合のケアプラン策定委託料を実態に合わせて減額。

**Q** 減額となっているが、当初より利用者が少なくなったのか。

**A** 4月からの実績に応じて増減を行った。

**Q** 悪質業者は閉め出して欲しい。

**A** 現在、そのような業者はないと聞いています。厳正に対処する。



上粕児童クラブ

# 市職員の 給与条例の 一部改正

## 総務委員会

12月4日に委員会を開会し、木津川市職員給与条例の改正についての議案1件を審査し、全員賛成で可決。

### 議案可決

11月22日木津川市総合計画審議会が開かれ、市民との協働による計画づくりということ、(無作為抽出した)18歳以上5,500人対象に12月中旬にアンケートを送り住民に協力依頼するという内容だった。

Q 市職員給与のラス

パイレス指数の変化は。

A ラスパイレス指数

の公表は12月末で、木津川市は職員採用を抑えているが、職員の高齢化で前回より若干あがる。

Q 民間の初任給を資

料で調べると、20万5千円程。民間との差があるのでは。

A 民間は初任給を高

くして採用を図るが、途中で伸びが若干ダウンして、最終的には変わらない。



その後、木津川市総合計画、国民保護計画、防災計画の進捗状況の報告を受ける。

### ワード

ラスパイレス指数  
国家公務員の給与水準を100とした地方公務員の給与水準の比較指数

# 8501人の署名 教育環境 整備の請願

## 文教委員会

12月7日に委員会を開会し、「教育格差をなくし、子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願」を審査し、5項目を採択した。

### 一部採択

「木津川市いきいき子育てネットワーク」から提出された請願について審査した。

り、特に遅れている旧山城町を中心に全市域への公平な整備

### 紹介議員による請願事項 9項目の詳細説明

- ① 泉川中学校給食の早期実現と木津給食センターの改善充実
- ② 旧加茂町で従来から単費で加配措置があるように、障がい児など特に配慮の必要な子どもたちのために教師増員
- ③ 扇風機や特別教室クーラー設置は地域差がある
- ④ 全国的に様々な形で少人数学級の必要性が認識されている。
- ⑤ 人口急増の本市では年度途中の学級再編成が懸念される。国は制度を認めている。
- ⑥ 小学校の音楽や体育など専科教員は近隣府県でも実施されている。
- ⑦ 学級費補助や修学旅行補助の地域差の是正と保護者負担の軽減を望む。
- ⑧ バス通学など地域の特

⑨ 学童保育対象学年を6年生まで拡大することは、すでに今議会で提案審議中である。

Q 提出者の団体は、どのような団体で、また署名はどのように集められたか。

A 市全体の教育環境を良くしようと保護者の方たちが立ち上げた団体で、仲間の方々が熱意を持って集められた署名と聞いている。

請願項目ごとに採決し、結果、①②③④⑦が採択された。

## 社会教育施設などの統一

文教委員会

10月24日・25日、愛知県三好町・愛西市に視察を行なった。

24日は「学校の新設とそれに伴う校区変更について」を研修。

人口急増による新設校が十数年間で小学校4

校、中学校1校あり、地区説明会や地元区長・PTA会長・学校長で組織

する行政区校区検討委員会を立ち上げ、あらゆる面の検討をした。そのため、保護者や子どもからは特に問題はなかった。



25日は「合併に伴う社会教育施設・社会体育施設の取り扱いの統合について」の研修。

社会教育施設の取り扱いはいは、公民館や図書館で、

休館日・使用時間・使用料・申請方法に違いがあった。また、社会体育施設では、体育館・グラウンド・市民プールで、休館日・使用時間・申請方法・使用料など細部に差異があった。合併協定では、施設の取り扱いについては、市民の利便性を第一に不公平感がないことを考慮し統一をした。

文化協会・体育協会の統合は、合併6ヶ月前から周知したので合併後の混乱はなかった。また、使用料の負担増の場合

は、施設の利用の箇所が増えることで理解してもらった。

いずれにしても、合併前にほとんどが統一され新市がスタートしている印象が強い。

## 議会改革を目指して

議会運営委員会

11月8日長野県松本市、9日長野県諏訪市で管外研修を行った。

一日目の松本市では、市議会の活性化に向け、ステップアップ検討委員会を設置し、方策に関する事項、広報充実に関する事項、情報公開・政策提案の推進に関する事項など10項目を選定し、短

期、中期、長期等の優先度を決めて、1年を目処に議会運営委員会で検討した。

当初予算については、予算特別委員会を設置せず、一般会計の歳入は総務委員会に一括付託し、一般会計歳出及び特別会計については、各所管委員会へ分割付託し予算審



査している。一般質問は、代表質問制を基本に個人質問も含めた形式にしている。議案質疑は発言の通告制を取り入れている。

市民に開かれた議会とするため、育児のため傍聴できない父母等に対し、「議会子ども控室」を開設し、保育士資格を有する臨時職員を配置して運営。

定例会最終日の議会運営委員会で、次期定例会の日程を予定として決めており、議会だよりやホームページに掲載し周知を図っている。

二日目の諏訪市では、2度の合併協議が白紙になったことから、市単独で行政改革に取り組む中、市議会として「議会改革特別委員会」を設置し、議員定数の見直しなどを行なっている。また、議員研修費や議会だより見直しにより経費削減を図り、議員は各種審議会などには就任しないなどの研修を受けた。



## 行財政の改革

総務委員会

11月13日、14日に管外研修を実施。

〈目的〉

木津川市に行財政改革推進委員会が設立され、総務委員会として、行財政改革の先進地を視察し具体策を研修。

◎滋賀県栗東市。工業団地の造成や第3次産業の立地や東海道本線の複線化等の交通改善により、人口が急増。平成8年に5万人を越え、13年10月に単独市政を施行。現在人口6万3千人。

行財政改革の取り組みとして「まちづくりの主役は市民」「行政はサービス業」「行政に民間・経営的感覚を」の三つを市政方針とし、具体的内容を「ひと」「もの」「財」の各要素に別け、行政改革大綱を策定。改革を実現のため事務事業シート



を作成し、内部評価・外部評価委員を設置し、次年度予算に反映させる。

◎岐阜県美濃加茂市。新たに製造系の企業が立地し、岐阜県トップクラスの製造品出荷額を誇る。

現在人口5万5千人。

行財政改革の取り組みは、限られた資源を最大限に活用、市民サービスを効率的かつ効果的に行うため、成果重視、住民重視、企業的な経営理念を行政運営に活かす。

両市とも、外部委託（コンサル）は必要最小限に抑え、住民と共に職員自ら努力されていた。

## ゴミの減量化を

厚生委員会

11月20日と21日、愛知県豊明市と安城市にて行った。どちらも、ISO14001を取得するなど、環境問題に熱心な行政である。

20日の豊明市は、資源

循環都市づくりプログラムの一環として家庭生ゴミを集め、粉殻をまぜて自然発酵させる。出来た堆肥を土地改良材として20リットル（6キログラム）200円で販売。この施設の総工費は1億3千万円で、管理・運営は、JAに9千万円で委託している。市内26、800世帯のうち5、000世帯が「生ゴミ堆肥化事業」に参加している。

21日の安城市は、環境都市宣言をして「環境首都コンテスト」に参加し、第6回コンテストでは3



位になった。環境基本計画があり、田園風景の継承や緑のネットワークの推進、水質浄化や道路騒音・大気汚染防止、リサイクルの取り組み、徹底したゴミ処理を展開。

大型ゴミもリサイクルプラザで修理、市民に競売にかけて売却。総建設費は18億円。リサイクルプラザでは、大型ゴミの他に缶や瓶なども分別。職員も2人常駐。現業は極東開発工業に委託している。

市民サービス向上への組織再編を

具体的に再編計画をする

**Q** 木津川市が発足して早や9カ月が経過した今、合併して良かったと思える行政サービスが市民に提供できているか。住民が身近に感じる行政は窓口業務であり、本庁や支所・出先機関での対応の仕方ひとつで変わる。

①合併当初で人事異動などは大変だった。しかし窓口業務のある担当課・出先機関で、職員が適材適所に配置転換されているのか。②人員配置が適切であるか。③新庁舎に移転前、人事異動や組織形態の見直し計画はあるのか。また、今後ど



中野 重高

のような組織体制で進まれるのかを問う。

**A** 市長 新庁舎完成において、「組織再編と事務事業の見直し」を実施する。

**市長公室長** ①職員を対象に希望調査を取り、平成20年度の人事異動の参

考資料とし、適材適所の配置に努める。②限られた職員数で、効率的な組織機構に改める必要がある。③新庁舎完成に合わせ組織を見直す。合併協議の組織方針を尊重し、課の統廃合による連携強化、人員配置、事務の効率化、職員の勤務環境の改善を考慮しながら再編計画を政策会議で決定する。



どうなる組織体制

透明性を高められる入札制度改革

20年度に改正をする

**Q** 入札制度を問う。今年度69件の入札実施に問題や発注者選定に課題は残っていないのか。

**A** 市長 入札契約制度につき透明性や競争性の向上を図るため、郵便入札や一般競争入札の導入などにより改善に

努めてきた。本市としても業者選定入札につき制度改革を進め、より一層の透明性や競争性を高めるよう努力をしていきたい。

**副市長** 19年度は暫定的な発注方法ということ、不備な問題については早急に改め、20年度か



片岡 廣

ら改正をして透明性・公平性・競争性を高めていく努力をし、検討作業に入っていく。

**Q** 健康管理は万全に職員健康管理と健康保持について。職員は戦力であり、健康で仕事に励んでもらうのが

**A** 市長 職員にとって心身の健康は重要。健全な行政の運営を行なっていく上でも、職員の健康管理は事業主の責務と考え取り組んでいく。



入札の改善目指して（建設部）





開放が待たれる州見台公園

指名競争入札をやめよ

参加業者を拡大する制度に改める

**Q** ①指名競争入札をやめよ。

②第三者機関で入札検証。

③水道の契約も議会承認。

④仕事起こしの小規模修繕契約の登録制度を。

**A** **建設部長** ①ランク付けを廃止し指名競争入札をやめる。30社ほどが参加できる予定。

②設置に向け検討する。

③適用除外で議会議決は不要、入札結果を報告。

④役務入札参加者名簿を整理し、小修繕を行う。

**Q** 解同への補助金をやめよ

①解放同盟の補助金をなくせ。統一交渉をやめよ。

②部落解放人権政策確立山城実行委から脱退せよ。

**A** **生活環境部長** ①補助金はやめる。統一交渉は意見交換会になる。

②脱退しない。

**Q** 州見台公園の使用を

①州見台公園を開放せよ。

②梅美台に信号機を。

③暗い箇所には防犯灯を。

**A** **総務部長** ①4月から使用できる。

②早期設置を強力に推進。木津署も公安委員会に設置を上申している。

③必要な箇所は整備する。

**Q** 非核の政府を求めよ。

②平和の鐘を鳴らせ。

③宣言文を掲示せよ。

どうする公立幼稚園

待機園児が出ないよう進める

**Q** 市立幼稚園の募集は、3歳児が3園で78人、4歳児が木津幼稚園で24人の定員オーバーであった。

これから順次全市での募集が行なわれるが、公立幼稚園の増設や、通園区、通園バス、待機者をなくすなど今後の幼稚園運営をどう進めていくのか。

**A** **教育長** 政策会議で協議した結果、公立幼稚園は増設しない。

園区制は平成20年度より段階的に廃止する。平成21年度からの通園バスは今後検討する。待機者を出さないよう、抽選にもれた人のために1月に50人の二次募集を行なう。



森岡 譲

後期高齢者医療減免を

**Q** 平成20年4月から始まる後期高齢者医療制度で市独自の減免策と周知は。また、同時に実施される特定健診、保健指導の人員も含めた体制は。

**A** **保健福祉部長** 市独自の減免はしない。

周知については来年2月と国保証の更新時にガイドブックを配布。また、実施に向け人の確保しながら事務が執行できるように努める。



定員をオーバーした木津幼稚園

市民マラソンの開催を

通行規制等の関係で開催は困難

**Q** 市民マラソンが市民交流のスポーツとして全国的な高まりをみせている。新生木津川市も市の一体化、融合を含め市民の健康、体力づくりをめざし、新市のまちづくりとして市民マラソンに取り組みべきである。

**A** 市は有名選手の出身地でもあり、他府県から多くの市民ランナーの参加はもとより、交流人口の増える事も望めて、木津川市を全国に発信・発展させる絶好の取り組みである。



七条 孝之

また、名選手が輩出される土壌になると考えられるのでは。

**A** 市長 コース、車両の規制等の関係で開催することが困難である。

ただマラソンは全国的

にアピールでき、まちを紹介するには絶好のスポーツと考えている。

今後は、市民の交流と親睦の場となる各種スポーツ大会を支援し、素晴らしい選手が育っていくようスポーツ振興に力を入れたい。



寒風の中元気に走る子どもたち



もっと住民参加を

養豚場問題市も被害者認識あるか

認識はしている

**Q** 違法行為に対して、市の毅然とした行動がない。市も被害者の認識はあるのか。法的対応はどうする。

**A** 市長 認識はある。道路境界の確定も済んだ。市道上の物件撤去を求めていく。建設部長 法的措置をとって行くが、十分な準備

が必要。

**Q** 正職保育士が少ない。財政難で正職の保育士が40%を割っている。改善をすべき。

**A** 市長 全国では公立の民間委託が増え問題多い。考えているのか。市民 民営化は早期に検討すべき問題と



村城 恵子

認識している。保健福祉部長 厳しいが、現状の体制で保育に当たっていききたい。

住民参加のまちを

**Q** 合併記念式典は、多くの時間を合併功労者の表彰にあて、評価できない。住民参加のまちづくりを進める努力

**A** 市長公室長 H Pで提供をして、意見をいただくよう現在整備中。

**Q** 犬猫の避妊去勢補助をのら犬やのら猫を生み出さないために、京都市のように避妊や去勢手術費用の一部補助金創設を。

**A** 市長 必要性はわかるが、飼い主の責任。財政上困難。





きのつバス

三度<sup>みたび</sup>バスの改善を求める

来年度試運転を検討したい

の検討を終える。

**Q** 加茂の住民がバス  
の署名を集め、市  
長へ直接要望された。そ  
の思いを受け止め、改善  
を急げ。取り組みはどこ  
まできたか。

**A** **市長公室長** 国の新  
しい補助事業に乗る  
ことができた。アンケー  
トも行い、春までに全体

**Q** 福祉のまちづくり条例を  
オストメイト対応  
をはじめ身障者用  
のトイレや駐車スペース  
は公的施設でどう設置さ  
れているか。  
市は「福祉のまちづく  
り条例」をつくるべきだ。



酒井 弘一

**A** **市長** 新庁舎にオ  
ストメイト対応トイ  
レを設計している。  
条例はつくりませんが、  
その精神で都市施設の整  
備・改善に取り組む。

**Q** 二年目に何をめざすか  
来年度、泉川中学校  
の給食実施。健康教  
室・総合ガン検診・狂犬  
病予防接種の会場はどう  
か。  
また、適正な機構改革  
が必要。特別職の参与は  
全市的な特別職へ変更す  
べきだ。  
**A** **教育部長** 泉中の給  
食はもうしばらく待  
ってほしい。

行財政改革に企業会計の導入を

国の指針に準拠し、整備検討する

**Q** 今こそ、気を引き締  
める時。どうする行  
財政改革・膨らむ隠れ借  
金はないか。再建計画は。

**A** **市長** 総合計画と財  
政収支計画をつく  
り、行財政改革で市民と  
共に難局を突破したい。  
また、国の指針に準拠し、  
わかり易い公会計の整備  
を図り財政の健全化に努

める。

道路管理を府に

**Q** 木津南地区（府の  
南玄関）の道路公  
共施設が、今後、市の管  
理負担となれば、市民の  
負担は大変。どうする。

**A** **副市長** 平成20年度  
逐次に移管をする。  
特に市道東中央線は府道

へ昇格を視野に協議を進  
める。

路線バスで活性化

**Q** 木津駅前、生活  
心市街地である。路  
線バスの充実で「街の顔」  
にすべきでは。

**A** **建設部長** 集客力を  
高めるため、地区内  
に駐車・駐輪場を設け、



阪本 明治

複合施設の立地により、  
人の流れを郊外から駅前  
に引き戻すことが必要。  
市単独で複合施設の設置  
は財政的に厳しく、民間  
開発も誘導できる手法で  
進める。今後も、中心市  
街地に相応しい、実現性  
のある複合的な施設の設  
置手法について検討して  
行く。



府道に格上げを（州見台）

木津中心市街地活性化の推進を

新たな活性化基本計画策定を検討

**Q** 木津駅前の市街地は目に見える形で区画整理事業が進んでいる。

推進すべきである。そのため市・商工会・地域住民が協働で一体的に具体化する中心市街地活性化協議会などを早急にスタートすべき。

**A** 市長 木津川市の総合計画策定との関係もあるが、早急な取り組みを検討する。

木津の中心市街地について、新市として新たな中心市街地活性化基本計画を早急に明確にし「人が集まり住んでよく住みたくなるまちづくり」を的確かつ大局的な見地で



大西 宏

ISO9001の活用を

**Q** 国際規格のISO9001を認証取得し、住民への満足度向上と行政改革を推進している自治体が増加している。

この規格が提唱するマネジメントシステムを研究し、部分的にも活用すべきである。

**A** 市長・市長公室長 部分的活用も含め、行財政改革のツールとして調査研究し、市のマネジメントシステムとして確立したい。

木津川市の景気はどうか

企業誘致も順調に進んでいる

**Q** 一般に景気がよくないとされているが、今後の木津川市の施策として①木津川市の農業は。②6月に質問した観光の取り組み状況は。③東地区、北地区は今後どう取り組む計画か。④平成9年発表の木

津南地区の新駅計画は。①小規模農家が多い本市は、独自の農業振興を推進し直売所の拡充や、団塊世代の新たな挑戦が本市の活力向上施策と考える。②市内各戸にパンフレットを配布、環境整備に取り組

**A** 市長 ①小規模農家の農業振興を推進し直売所の拡充や、団塊世代の新たな挑戦が本市の活力向上施策と考える。②市内各戸にパンフレットを配布、環境整備に取り組

む。③関係機関と連携し課題解決に鋭意努力する。④今後も検討する。



尾崎 輝雄

**Q** 全国学力テストの結果は学力低下が指摘される中、全国学力テストの結果を見て、①

京都府のテスト結果は。②本市のテスト結果は。③食と人間形成関係は。④生活実態と学力関係は。

**A** 教育長 ①中学校の国語以外すべて平均を上まわった。②全て平均正答率が全国や京都を上まわった。③朝食を毎日食べる児童生徒は正答率が高い。④学習時間の多い児童生徒は正答率が高い。

全国学力テストの結果は学力低下が指摘される中、全国学力テストの結果を見て、①



もっと企業誘致を



JR木津駅前





おいしい水の供給を（宮ノ裏浄水場）

おいしい天然地下水を守れ

混合しても水に変化はない

**Q** 旧木津町周辺が開発され緑豊かな自然がなくなり、新しく整備された街が生まれ、人口・収入は増加したが、

既成市街地の基盤整備は遅れている。

その中で、旧本町に送水されている天然地下水は大きな財産だ。

府営水と混合する計画

だが、地域住民に説明する責任がある。住民の生命と財産を守ることは、行政の第一義と考えるが、

**A** 上下水道部長 安

全で安心の水道水を供給していく。混合しても水に変化はないので、住民に説明はしない。

待機児童ゼロを目指せ

**Q** 公立幼稚園での幼児教育は旧木津町の魅力ある事業で新市に引き継がれた。入園希望者が増加しきようだが、

近所の友だちが抽選でふりにかけられている。公立園であるからには、すべての希望者に学校の



高味 孝之

空教室活用やプレハブを設置してでも公平に幼児教育を受けさせる義務がある。早急な対策が必要。

**A** 教育長 施設規模や安全面から定員増加

はできない。公立園の新設も財政面から困難。私立園奨励費を補助し多くの幼児を受け入れてもらう。

市長のマニフェスト実現に向け

効率的な組織機構改革に努める

**Q** 本年度の予算は合併の継続であり、平成20年度の予算が、木津川市の初予算と言える。

市長が揚げられた9つのマニフェストを実現するためには、組織・機構改革、財源確保を市民の方々に示すことが大切である。基金を精査する

と共に、保有土地の必要性を検討し、市長の実施する事業の財源を確保する必要がある。そして、

現状を認識し、創意工夫して、市民のための特色ある組織・機構改革を望む。



倉 克伊

**A** 市長 市民に約束している施策は9つ

あり、それぞれの実現のために、いかに財源確保するかが重要。それは、税の収納の向上、行財政改革による歳出の削減とともに、保有財産についても見直し、転用や処分

も含めて検討する。

また、木津川市の基盤をつくるため、施策の実現を目指し、政策決定が迅速に実行可能な、簡素で効率的な行政運営が望める組織・機構改革に努めていく。



建設中の新庁舎

祭りを通じて市内住民の融合を

時間が必要

**Q** 補助金を出している祭りやイベントは、1つにまとめるか、地区ごとの同時開催で連携するかを、旧3町から実行委員を選任して決める必要がある。その時には職員も住居地の住民としてボランティア参加すべきである。

**A** 市長 一挙には難しい。時間が必要である。

**Q** どうなる廃棄物処理計画 旧加茂町のゴミを処理するために当尾に計画された三重中央開発(株)の廃棄物処理工場は、木津川市としてゴミ処理場を検討している

**A** 生活環境部長 既に地元同意も取れ、平成15年から計画が進んでいる。見直しは難しい。計画地の土壌は管理型の埋め立て地なので、今後監視は続ける。



曾我千代子

**Q** どうする市のバス計画 各地のやり方を見ていると、発想の転換次第で、コミュニティバスはいろんな試みのできる貴重なものである。木津市役所を起点として、住民に愛されるバスにして欲しい。

**A** 市長公室長 公共交通活性化総合プログラム制度を活用し、検討していきたい。



どうするこれからの祭り



上下水道部

談合防止に入札改革を

一般競争入札を拡大する

**Q** 談合は、税金泥棒で市民を裏切る犯罪行為だ。談合を防ぐために、井手町で1千万円以上、京都府で1千五百万円以上の入札は一般競争入札だが、なぜか、木津川市は3億円以上だ。人口の少ない井手町は談合防止

**A** 市長公室長 既に地元同意も取れ、平成15年から計画が進んでいる。見直しは難しい。計画地の土壌は管理型の埋め立て地なので、今後監視は続ける。

**Q** 談合は、税金泥棒で市民を裏切る犯罪行為だ。談合を防ぐために、井手町で1千万円以上、京都府で1千五百万円以上の入札は一般競争入札だが、なぜか、木津川市は3億円以上だ。人口の少ない井手町は談合防止

**A** 建設部長 透明性、競争性を高めるために来年度より一般競争入札の適用範囲を拡大する。11月までに実施した入札件数は建設工事など95件で、平均落札率は79・5%で競争性のある入札結果だ。



深山 國男





困っているあき地管理

**Dランクは、市民の責任ではない**

今後適切な分別をお願いしたい

**Q** ペットボトル等の資源化物の売り払い業務は、契約書の記載がないのに、委託業者により行われている。売り上げが自治体の収入に上っていない。  
自治体の財産であり、業者に売り払い料を求めよ。

**A** 市長・生活環境部長 売り払い料は、次年度の委託料に反映。今後は、資料請求をしたい。

**Q** 昨年山城町の廃プラスチックごみは、Dランク。(財)容器包装リサイクル協会より、19年度同町ごみは引き取らないとの停止通

**A** 市長・生活環境部長 知は、契約書の条項にない違反通知である。443万円の処理費の執行前に、契約書にそった対応をせよ。

**Q** 昨年山城町の廃プラスチックごみは、Dランク。(財)容器包装リサイクル協会より、19年度同町ごみは引き取らないとの停止通

**A** 市長・生活環境部長 これ以上引き取り命令はできない。十分参考にする。

**Q** この間の入札改革の姿勢は評価する。今後の姿勢の確認のため具体策は。

**A** 建設部長 一般競争入札の拡大。Dランクの廃止。公募型指名や郵便入札を拡大する。



真弓 真弓

**Q** 清掃センター建設に提案している。奈良市の例を参考し、次回に報告せよ。

**A** 生活環境部長 提言をぜひ参考にする。

**Q** 留まる事なく入札改革を

**A** 建設部長 一般競争入札の拡大。Dランクの廃止。公募型指名や郵便入札を拡大する。



引き取り停止となっているAランクごみ

**廃屋対策 あき地の除草対策は**

行政の積極的介入は難しい

**Q** 廃屋対策、あき地の除草対策について9月議会で質問したが改善されているように思えない。実効性のある条例を制定すべきと思うが。

**A** 市長 憲法で保障されている個人の財産を条例で規制する事は困難であると考えます。

**Q** 副市長 土地所有者で解決していただく問題である。行政の積極的な介入は難しいと考える。

**A** 生活環境部長 今年度の指導件数は、378件、除草依頼82件、大半が適切に除草されている。農



廣由 織田

**Q** 児童クラブの時間延長を放課後児童クラブの時間帯延長について。

**A** 保健福祉部長 要望は数多く受けている。その事に関し、調査研究してきたが、解決すべき課題が数多くあり、20年度からの実施は困難な状況。

**A** 市長 住民の皆様からは数多くのニーズがある。その事については十分認識しているので、今後鋭意努力していく。

魅力あるまちとは

市の玄関口に相応しいまちづくり

**Q** シビックゾーンの整備やJR木津駅前開発など基本的なまちづくりは。

- ① JR木津駅前の市有地3300㎡が駐車場・駐輪場に整備と聞けが、集客施設を伴う開発の再考を。
- ② 庁舎隣接の民間地や市道335号線を含めた周

辺道路の整備方針は。

- ③ 庁舎から木津交差点付近の拡幅工事の進捗は。
- ④ JR木津駅東口の整備も進んできたが、東西を結ぶ道路の整備は。
- ⑤ 木津駅東口の農用地域の市街化への取り組みは。



伊藤紀味枝

**A** 市長・建設部長

- ① 中心市街地にふさわしい現実性のある、複合的な施設で民間開発も誘導できる設置手法を検討。
- ② 庁舎周辺の道路整備は平成20年度より4カ年で。
- ③ 地権者に対し地元説明会を開催し、家屋補償や

用地調査をしている。平成22年度には歩道の拡幅工事を完成させる計画。

④ 都市計画道路天神山線の整備を重点に、国・府に強く要望している。

北線として市道43号線と総合庁舎・振興局の前と木津駅前東線とを結ぶ新連絡ルートの整備を思考。

⑤ 地元の同意が得られなかったが、再検討したい。



打越台環境センター

事業系一般廃棄物処理料の改正を

料金改正に努力を重ねていく

**Q** 事業系一般廃棄物は現在木津・山城

地域は西部塵埃処理組合(kg20円)で、加茂地域は三重中央開発(kg40円)で処理されているが、①なぜ2倍もの価格差があるのか。

②合併後も以前と同じ処理料金である。木津川市として処理業者と価格交

渉が出来ないのか。

**A** 生活環境部長 ①

価格差については現在木津川市の事業系一般廃棄物は区域を二分し(木津・山城地域と加茂地域)加茂地域の事業系一般廃棄物を処理料の異なる民間施設で区域処理を行っているため起こっている。



中谷 裕亮

②「価格統一・処理業者との価格交渉」について

は、木津川市としても事業系一般廃棄物処理にこのような格差が生じていることについては、望ましくない状況であると認識している。



どうするJR木津駅東口

以上の問題については西部塵埃処理組合とも充分な協議をし、木津川市の方で処理業者との折衝については対応していく。





女性の保護と自立支援を

DV防止の取り組みは

未然防止に努める

**Q** ドメスティック・バイオレンスは、社会的に大きな問題になっている。児童虐待とDVが複雑な関係にあることも言われている。DVを受けた女性の保護と自立支援や、相談・啓発等、前向きに取り組むべきである。非暴力教育や児童

虐待に対する相談・対策はできているか。

**A** 市長 女性に対する暴力を許さない社会の実現と、意識啓発と相談業務、教育の充実を図っていく。

**Q** 障害者自立支援は障害者自立支援法により、日常生活の応益負担や社会参加が阻害されている。就労や日中活動等の支援は。

**A** 生活環境部長 女性センターが窓口。3件の相談があった。



炭本 範子

**A** 保健福祉部長 地域生活支援事業は、充実に向けて、知事に要望した。

**Q** 恭仁宮の後は  
目に見える形に整備を。

**A** 教育部長 整備検討委員会を設置し、地域の活性化に繋げていきたい。

新市初の予算編成は

継続事業をまずすすめたい

**Q** 旧三町が合併して九か月。新市になって初めての予算編成の時期を迎えた。市民は大いに注目している。将来の木津川市を作っていくための基礎づくりをしていく出発点となる大切な予算編成だ。効果の上る予算配分をする上で、限られた財源の中で市民に

納得してもらええる予算編成を。何に重きをおくのか、市長の色を出してもらいたい。削るものは削る、つける所にはきっちりつけていく、メリハリのきいた予算編成で、市民の大きな期待にこたえてもらいたい。

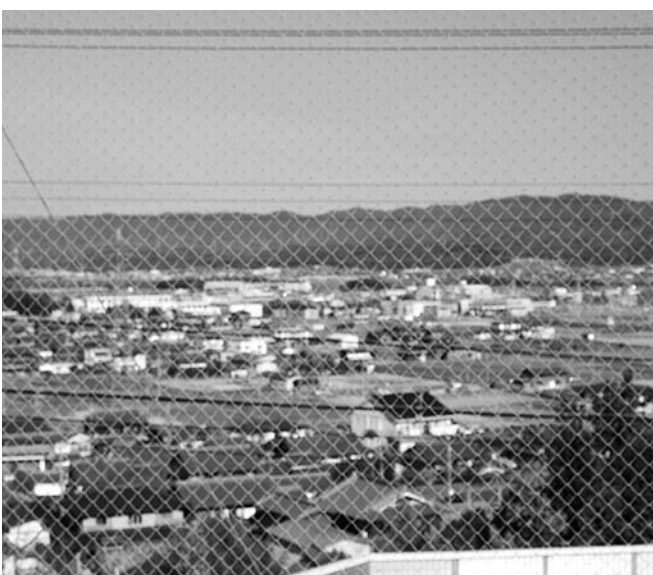


出栗 伸幸

**A** 市長 平成20年度

の予算編成については「未来の木津川市づくり」の基礎・基盤を固めていくためのスタートの年と位置づけ、厳しい財政状況の中ではあるが、限られた財源の中で市民サービスの低下を招くことなく行政効果を発

揮できるように編成したい。歳出面では経常経費の節減を図り、事務・事業の必要性、緊急性を検証し、削減する経費は削減し、真に必要な経費は計上し、限られた財源の効率的な配分に努めるなど、継続事業を優先させ予算編成したい。



相楽台小から望む木津川市内

総合的に調整する

老朽化の市営住宅はどうするのか



島野 均

**Q** 築50年経過した市営住宅が特に山城地区に25戸もある。高齢者の方が安心して暮らせる住環境を。

**A** 市長 「市営住宅マスタープラン」として策定し計画する。対象住宅は耐用年数等、耐震面にも困難であり、随時戸別改修で対応する。

**Q** 学校図書館の充実を

**A** 市長 国は5年間で、約一千億円を学校図書のために措置しているが、市の計画と、子どもの読書運動の推進に図書標準をどれだけ上げるのか。

**Q** 転入住民に市の情報を

**A** 教育長 小学校の図書費は323万円、中学校177万円で、計画的に増加を目指し努力

し、充実を図るのが教育行政の大切な使命である。

**Q** 市発足以来毎月平均1000人増加し

続けている。新住民に市の紹介の冊子、ホームページより情報提供し、新

しい木津川市をPRしてほしい。

**A** 市長 「広報きづがわ」と木津川市のホームページを通じて情報を届けている。新庁舎完成後、組織機構も変わるので、より便利な冊子を作成する。

急であり、老人にとっては使用しづらく危険である。老人会等集まるたびに「隣に保育所が空いているのに」と話題になる。なんとか地元で管理することで、当尾保育所の後利用を考えていただきたい。

要望に則した保育所の後利用を

十分調査し検討する

**Q** 現在当尾地域の老人の集りは、当尾老人会、社会福祉協議会など

当尾公民館を利用して活動されている。

公民館の現状は旧当尾村役場時代に建設されたもので老朽化しており、2階の大広間を利用。2階へ上る階段は幅は狭く



山本 喜章

**A** 保健福祉部長 旧加茂町時代から検討、

いまだ転用に至っていない。当尾保育所建設時の補助金返還額が400万円残っている。返還免除となる社会福祉施設への転用を京都府に確認し、進めてきたが、該当する

事業がなく現在に至っている。

改めて再利用できる委託先、また、補助金の返還も視野に検討する。

公民館の2階に上がる階段が非常に使いにくく、お困りのことも良くわかった。十分調査し検討する。



活用が待たれる当尾保育所



老朽化している市営住宅





年間売上高11億円、都市近郊に位置するJA千葉みらい大型農産物直売所

大型農産物直売所の設置を

地産地消運動を一層進める

**Q** 学研都市のポテンシャルと都市近郊

農業の利点を生かし、遊休農地を活用し、団塊の世代を初め幅広い市民と協働し遊休農地の解消、農業所得の向上、健康づくり等を目的とした『地産地消』運動を木津川市から全国に発信するため

強化の考えは。

**Q** ②大型農産物直売所の設置と組織づくりの考えは。

**A** 市長 ①組織体制を農業委員と協議する。

②新たな直売所構想も温めつつあると伺っており行政、農業団体が共に進めている地産地消運動を一層進めて参りたい。



西岡 政治

決算・予算の数値目標は

**Q** 平成19年度も8カ月余りが経過した。また平成20年度予算編成方針が示された。しかし、その内容は抽象的である。そこで①19年度決算見通しは。

**A** 市長 ①決算見通しは予測し難いが、基金取り崩しは16億円を下まわる。

②新市財政計画目標数値を基本に努力する。

旧木津町二つ目の特養進捗状況は

木津川市においても計画を継承

**Q** ①旧木津町第4次老人保健福祉計画、第3期介護保険事業計画に織り込まれた特別養護老人ホームは木津川市にどのように引き継がれているか。

②同施設の建築工程が大幅に遅れている理由と今後の予定について。

③周辺住民への配慮や、

景観対策も含め環境保全対策は万全か。

**A** 市長 ①本市における5番目の特養老人ホームとして計画を継承

され、旧木津町域の木津川台地区に、平成20年度中の開設に向け、京都市や関係機関と協議し整備に努めている。



吉元 善宏

保健福祉部長 ②大幅に遅れている理由は社会福祉法人設立認可に時間を要した。また、建築基準法の改正による新基準の構造計算が必要となり、再設計を余儀なくされた。

今後の予定として、来年1月工事に着手し、平成20年10月には竣工予定の

報告を受けている。

③木津川台地区は閑静な住宅地である事を念頭に施設の景観も含め、環境保全についても充分に配慮するよう、事業者に強く指導を行っていきたい。



特養の予定地（木津川台）

# 意見書の提出

厚生委員会で陳情を審査した結果、委員会として議会提案し、全員賛成で採択した。

社会福祉施設等の福祉人材確保対策の具体化と充実を求める意見書

レセプトのオンライン請求義務化に関する意見書

療養病床削減・廃止方針についての国に対する意見書

全国的に福祉職場での人材不足が深刻な問題であり、福祉労働者不足の解消は喫緊の課題である。

国に対して

1 安全で安心できるゆきとどいた社会福祉や介護サービスの提供ができるよう『社会福祉事業に従事する者の確保を図るための措置に関する基本的な指針』を具体化すること。  
2 福祉労働者不足を解消するため、介護報酬、障害者自立支援給付費、運営費、措置費等における人件費財源の具体化と十分な財源確保を国の責任で行うこと。

厚生労働省は、診療報酬請求書・明細書（レセプト）について、オンライン請求に限定するよう省令を改正した。

京都保険医協会が行なった60歳以上の開業医対象のアンケートでは、機器投資や業者委託などの負担によって「引退」が50%に達すると報告された。

医師不足が社会問題となる中、地域医療に大きな影響を与え、崩壊につながる懸念がある。

国は、除外対象医療機関を拡大し、除外適用期間を延長すべきである。

介護療養病床の全廃、医療療養病床の削減を示す方針は、多大な影響が想定される。国は、医療費の伸びを抑制すると述べているが機械的に実施する

ば、高齢者の生命と健康を脅かすと危惧される。尊厳も生命も奪われる高齢者を、住民から一人として生み出すわけにはいかない。実情に応じて延長できる権限を、各自自治体に対して与えることを求める。

医療療養病床の削減を示す方針は、多大な影響が想定される。国は、医療費の伸びを抑制すると述べているが機械的に実施する

# 組合議会報告

## 加茂箕置組合

10月29日開会。

平成18年度決算認定について審議を行なった。

歳入合計は2897万円、歳出合計は2700万円で、実質収支額は、196万円の黒字決算だった。歳入の主なもの線下補償金と基金利子で、歳出の主なもの積立金。全員賛成で認定した。

歳出3億5834万円、歳入3億6041万円。

## 質疑

Q 監査意見の「おおむね計画どおり処理能力が発揮され、全国と比較してもこのような処理ができていない施設はない」の記載と「1日も早い新工場建設が望ましい」は、整合しているのか。

## 西部塵埃

### 処理組合

11月16日開会。

河井市長から前回以降の木津川市の取り組み経過の説明があり、鹿背山地区に対して、特段の進展はないが、1日も早い問題解決を目指す報告された。

その後、平成18年度決算認定、条例改正2件を審議した。  
平成18年度決算は、

A 全国的にも打越台のような長期稼動炉は少ない。修理をしてなんとか稼動させている現状。新炉建設の用途を明示し、修繕の決定をする段階。  
全員賛成で認定。他2件も全員賛成で可決した。



山城ぬくもりの里





中部消防出初式

## ■相楽中部

### 消防組合

11月19日開会。

平成18年度決算について、歳入が12億7321万円、歳出は12億4623万円となった。主な歳入は分担金（構成市町村から）で11億9902万円。歳出は人件費を含む総務関係だけで12億1660万円、公債費で2909万円、この二つで支出の99・9%を占めた。監査報告のあと採決し、全員賛成で認定した。補正予算については分担金の額の確定に伴う内容で、給与改正による人件費の増額や消防施設整備資金積立基金の増加な

どで737万円を追加し、総額を11億9011万円とした。

全議案、全員賛成で可決した。

## ■相楽郡広域

### 事務組合

11月19日開会。

副議長に北猛氏（南山城村）を選出した。

議案は、18年度会計決算認定など9件。

「職員の勤務時間を延長する」議案は、反対討論があったが、賛成多数で可決。また、「職員給与引き上げ」、「市町村分担金の変更」、「19年度補正予算」も賛成多数で、他の4件は全員賛成で可

決された。

注目されていた「し尿汲み取り手数料の変更」の議案は、現行10リットル100円を平成20年10月から110円へ引き上げるという内容。反対があり、論議の結果、特別委員会を設置し継続審査することになった。

## ■国民健康保険

### 山城病院組合

11月21日開会。

河井管理者より、整形外科医2人が退職するが後任の見通しがたっていない。府立医大等に依頼するとともに、医師が来てもらえる状況整備を行なりたいとの報告があった。

議事は、決算認定2件、補正予算2件、条例改正1件ほかであり、全議案、全員賛成で可決。

18年度決算では、2億2491万円の赤字決算で、原因としては、医師不足と電子カルテ導入によるもの。また、介護施設「やましろ」も開設初

年度で赤字の見込み。

なお、医師不足の問題については、利用者・患者の立場にたつて、この状況に至った原因を把握するとともに、早急な対策を講ずる必要がある旨の意見書を付した。

## ■京都府後期高齢者

### 医療広域連合

12月1日開会。

今回は、京都府としての保険料率などを決める条例提案が最重要課題である。

被保険者が死亡した時には葬祭費5万円を支給。所得割および均等割共に、広域連合区の全域にわたって均一とする。

平成20・21年の所得割率は100分の8・32。均等割は4万5250円。京都府としての平均は、8万2500円。減免無しだと9万5007円。賦課額は50万円を超えることは出来ず、保険料の賦課期日は4月1日とする。

関係市町村が徴収し、

その徴収した額を広域連合に納付。被保険者証の返還を求められて応じないものは10万円以下の過料に処するなど。

## 質 疑

Q 高齢者人口によって負担割合は変更されることはあるか。

A あり得る。5年を目途に、全般にわたって変更される。

Q 医療の包括払いもあり得るのか。

A 諮問委員会などで、その話があるので、可能性としてはあり得る。

事務局の顔色が変わるほど、反対者も多かった。「国の法律どおりでなく、京都色を出した条例にすべきだ」という反対討論もあったが賛成多数で可決した。

「後期高齢者医療制度の改善等を求める意見書」が、賛成多数で採択された。



山城病院組合

# わたしの意見

このコーナーへの投稿を、お待ちしております。



岩田 誠一さん  
(加茂町岡崎)

## 避難場所設置を

恭仁の里へ帰って、早や2年目、地域の催し物に参加させて頂き、感謝しています。  
自然に恵まれた環境下ですが、瓶原地区には指

定された避難場所がない  
そうです。  
災害時に備え、早急に  
避難場所の設置を、お願い  
致します。周囲には、  
文化財があり、何かと条  
件は悪いとは思いますが、  
市民の安全を第一に考え、  
安心して生活出来るよう  
に切に願うものです。  
よろしくお願い致します。

## お知らせ

3月定例会は2月29日(金)からはじまります。



杉本 安代さん  
(山城町上粕)

## 三地域結ぶ バス路線の 実現を願って

「山城は静かで落ち着  
いた町やなあ。」と、遠く  
から訪れる友は誰もが言  
う。けれど、来訪する友  
や子供達の友人は、その

殆んどが近鉄線でやって  
来るから、川向うの新祝  
園や高の原、近くて山田  
川駅まで車で送迎しなく  
てはなりません。そうい  
えば、三人の子供達も中  
学から大学時代まで近鉄  
線の駅まで送迎していま  
した。三町合併二年目の  
本年こそ、木津、山城、  
加茂地域を結ぶバス路線  
の実現を願ってやみませ  
ん。市議会や行政の方々  
の一層の奮起を期待して  
おります。



稲葉 昌平さん  
(相楽城西)

## 歴史と文化 魅力あふれる 街に！

合併により、市内にあ  
る国宝や重要文化財など  
の国指定文化財は、実に  
59を数えます。浄瑠璃寺  
や岩船寺、海住山寺をは  
じめ豊富な文化財は、市

民の誇りでもあります。  
市内全域に存在する輝  
かしい歴史・文化を活用  
していくことが大事だと  
思います。例えば「歴史  
散歩がよく似合う木津川  
市」として、観光ルート  
を整備し、もつと観光客  
を呼び込む仕組みづくり  
も必要ですし、ふれあい  
文化講座や歩こう会など  
を充実させると共に、「ま  
ちかど歴史ガイド」など  
の誕生が望まれます。

## 編集後記

年明は、NY原油が史上  
最高値を付け、東証大発会  
では戦後最大下げを記録す  
るなど、波乱の幕開けとな  
りました。

今年には北京オリンピック  
イヤーです。日本選手が活  
躍する明るいニュースを誰  
もが期待しています。

木津川市が誕生して来月  
で1年になり、議会だより  
も3号となります。ご愛読  
頂きご意見をお聞かせ下さ  
い。

皆さんにより親しんでい  
ただける紙面づくりに取り  
組んでまいります。

## 広報編集委員会

- |      |        |
|------|--------|
| 委員長  | 村城 恵子  |
| 副委員長 | 呉羽 真弓  |
| 委員   | 伊藤 紀味枝 |
| 〃    | 島野 均   |
| 〃    | 炭本 範子  |
| 〃    | 酒井 弘一  |
| 〃    | 倉井 克伊  |
| 〃    | 曾我 千代子 |

伊藤 紀味枝